

平成29年度市民アンケート結果概要

◆ 調査の目的

満足度などの「市民の気持ち」を測り、経年変化を比較することにより、第5次留萌市総合計画の進行管理を行うことを目的にアンケートを実施。

◆ 回答者属性

昨年度の333件を24件上回る357件の回答があり、回答率は2.4%上昇した。

このうち性別の構成としては、昨年度に比べ男性が6.0%増の47.1%、女性が5.8%減の49.5%（無回答3.4%）となっている。

年代別の構成としては、20代と50代が増加しており、10代、30代、40代、60代、70代以上がそれぞれ減少している。

◆ 満足度調査

満足である割合が高いのは、「健康管理に気をつけている（82.7%）」が、唯一80%を超えている。次いで「留萌の文化・歴史を大切にしたい（74.1%）」「留萌は海や山など自然と調和がとれている（70.2%）」が70%を超え、その他「留萌は、ごみを減らしリサイクルに努めているまちだと思う（64.4%）」「留萌の広報誌は、読みやすくわかりやすい（57.7%）」「地元産品であることを意識して買い物をしている（57.5%）」が続き、「税や使用料などの市民負担について理解している（54.0%）」が昨年より8.2%上昇、「留萌の生活道路は、日常を生活するうえで必要最小限の除雪がされている（52.2%）」が昨年より5%上昇して50%を超える結果となった。

反対に不満である割合が高いのは、「中心部ににぎわいはなく、商業・サービス機能などが充実しているとは思わない（92.8%）」であり、昨年度の91.4%から更に1.4%増となっている。また、「商店街に魅力を感じない（87.6%）」「老後の暮らしへの不安や心配（84.8%）」がいずれも昨年度に引き続き80%を超えている。

◆ 優先度調査

優先度で割合が高いのは、「信頼される医療サービスの提供（52.4%）」が昨年度に引き続き50%を超えたほか、「にぎわいのある中心市街地の再生（49.9%）」「効率的な除排雪（49.9%）」「高齢者福祉の充実（44.8%）」「魅力ある商店街の再生（43.4%）」「地域医療の充実（43.4%）」「地場産品の消費拡大（42.3%）」「新たな観光・イベントの創造（42.3%）」「公園・緑地の管理（42.3%）」「予防や健康づくりの推進（42.0%）」が高い割合となっている。